

令和元年度事業報告

1 概要

近年の雇用情勢の改善で、地方でも企業等の人手不足が顕在化し、シルバー人材センター（以下「センター」という。）を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いている中でしたが、これまで市当局、関係団体等のご理解ご支援をいただきながらシルバー事業の運営に取り組んでまいりました。

特に、薩摩川内市の補助金や国の補助事業である「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を活用し各種施策に取り組んだ結果、会員数や事業収入が順調に伸び健全な事業運営ができました。

センターの根幹をなす会員の確保については、事業計画で掲げた基本方針に基づいた施策に取り組み目標数を超えることができました。

就業の拡大については、受託件数が目標数には及びませんでした。概ね前年度実績を上回ることができました。

安全・適正就業の徹底については、安全パトロールの実施やお知らせ版での周知など強化に取り組みましたが、昨年度より発生件数は増加しました。

ボランティア活動については、それぞれの地域で活動することにより地域社会への貢献とセンターの存在の周知を行いました。

以下、令和元年度事業は次のとおりでした。

2 目標値に対する実績（派遣事業を含む。）

区 分	会員数	受託件数	就業延人員	契約金額
目標値	550 人	6,260 件	54,700 人	294,000 千円
実 績	562 人	6,007 件	54,889 人	296,076 千円

3 実施内容

(1) 会員組織の充実と活性化

- ① 各種の研修会を開催し、能力・資質の向上に努めるとともに、専門委員会では会員による自主・自立・共働・共助体制の構築に取り組みました。
- ② 班長を中心としたチームワークの醸成を図るとともに、会員相互の連帯感を高めるための協議の場を設ける等、作業の効率化・活性化を推進しました。
- ③ 会員の高齢化と減少により就業に支障が生じている刈払い作業や剪定作業については、会員の拡充を図るとともに中心となるリーダーの育成を図り、チームワークの醸成を進めました。
- ④ 会員相互交流の場の充実としては、県大会の選手選考を兼ねた同好会主催のグラウンドゴルフ大会を開催し、魅力のあるセンターを目指しました。
- ⑤ 昨年に引き続き刈払い機の替え刃等の斡旋と配分金からの支払いなど会員利便性の向上に努めました。

※刈払い機の替え刃 877枚、ヘルメット6個

(2) 会員確保運動の強化

- ① 各種講習会や研修会、定例会説明会を開催しながら新規入会に努めました。
- ② 専門推進員の配置による公共職業安定所との連携や既存会員による新規会員の勧誘に取り組みました。
- ③ 「市広報紙用マガジンラック」への会員募集チラシ等の配置や、読みやすい広報誌の作成に努めました。
- ④ イベント会場でのキャンペーン活動による普及啓発活動や入会しやすい環境づくりを整備することで会員拡大を図りました。
- ⑤ ホームページによる入会説明会の日程等の周知や地域FMラジオCMを活用した会員の入会促進に努めました。

(3) 就業機会の開拓・拡大

- ① 就業現場において「のぼり旗」等の設置や安全ベストの着用による普及啓発活動で、市民へ周知し事業拡大を図りました。
- ② 1年以上の就業実績のない会員に文書で意向アンケート調査を行うとともに、毎月発行のシルバーだよりに、企業等からの就業情報を掲載しました。
- ③ 発注者に対しては、作業終了後に会員の作業状況等について聞き取り調査を行い、発注者の声を踏まえ、誠実かつ信頼される就業に努めました。
- ④ 繁忙期での作業遅延対策として、職種によって地域間を超えた班の応援体制を行いました。
- ⑤ 一般労働者派遣事業は、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」によりコーディネーターを配置し、派遣事業先の開拓と派遣会員の確保を図りました。

(4) 安全・適正就業の推進

- ① 安全就業適正委員会において、毎月10日の安全の日に安全パトロールを実施し、作業現場での看板やのぼり旗の設置及び安全ベストの着用を義務付けて、会員の事故防止への認識を高めました。
- ② 事故や苦情等が発生した場合は、その状況を「お知らせ版」で注意喚起をするとともに、作業開始前のミーティングの実施と作業現場の事前確認により、会員の安全就業及び健康保持に努めました。
- ③ 従来受注していた作業についても、過去の重篤事故を踏まえ作業内容の見直しやシルバーで受注が困難と判断した場合は、受注を受けないこととしました。
- ④ 夏場の暑さ対策の一環として、引き続き熱中症見舞金制度に加入し、会員が安心して就業できる環境を整えました。
- ⑤ 発注者への迷惑行為、会員間の協調性の欠如、無届就業をする等の行為については「安全適正就業委員会」での検討や、文書で会員に周知するなど、再発防止策に務めました。
- ⑥ 剪定作業や刈払作業の実技講習会による技術力の向上や安全衛生講習会を開催し、より一層の安全適正就業に努めました。

※安全パトロール実施カ所数 28カ所

(川内：14、東郷：6、樋脇：2、入来：3、祁答院：1、上甕：2)

(5) 地域社会への貢献

公益法人として地域社会への貢献とシルバー事業の普及啓発を兼ねた活動のため、9カ所の地域で会員によるボランティア活動を実施し、地域社会に喜ばれ信頼されるシルバー人材センターとなるように努めました。

※ボランティア活動参加者 147名

(6) 事務局体制の充実と強化

- ① シルバー事業運営の円滑化やセンターと会員及び発注者との信頼関係を構築するために、会員に優しく明るい職場環境づくりに努めながら職員としての資質の向上を目指しました。
- ② 業務会議を毎月で開催し、業務の見直しや仕事の効率化、迅速化に向けた取り組みを進めました。
- ③ 見積基準の見直しについては、見積専門員を配置し新規発注分を中心に実施しました。
- ④ 年会費については、会員の利便性向上のため、配分金からの控除を行いました。
- ⑤ 前年度の黒字解消及び受託、派遣事業の受注等増加に対応するため、事務局職員の各種研修の参加や能力強化に務めました。
- ⑥ 車輛や備品設備の見直し等を行うとともに、関連機器の効率的な配置により、事務処理の簡素・効率化に努めました。

令和元年度事業報告には、法人法施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、附属明細書は作成していません。